



OWS
Research and Education
Non-profit organization
The Oceanic
Wildlife Society

REPORT 2017

2016.04~2017.03

特定非営利活動法人 OWS
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704



沿革

1998年 11月●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置
 1999年 02月●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置
 06月●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置
 09月●東京都NPO法人の認証取得
 2000年 02月●各種会員の募集開始
 03月●会報「季刊エブオブ」創刊
 08月●公式ホームページ開設
 2001年 02月●OWS会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏
 就任
 06月●「ネイチャースクール（自然体験プログラム）」開始
 2002年 01月●「OWSネイチャーガイド養成コース」開始
 04月●「アンガウル州立自然公園プロジェクト」開始
 09月●事務局を目黒区下目黒に移転
 10月●「海のセミナー」開始
 2003年 06月●「水中ゴミ調査」開始
 09月●アンガウル州立自然公園ビジターセンターオープン
 11月●「海のトークセッション」開始
 2004年 01月●ジャック・T・モイヤー会長逝去
 05月●長谷川博氏（東邦大学理学部教授）、OWS会長就任
 06月●「海辺の自然教室」開始

2005年 09月●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始
 10月●事務局を豊島区雑司が谷に移転
 2006年 01月●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始
 2007年 07月●「OWS 5人の写真展（巡回写真展）」開始
 2008年 03月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」開始
 05月●「砂浜海岸生物調査」開始
 2009年 08月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」探索調査開始
 09月●「ネイチャースクール 日帰りプログラム」開始
 2010年 03月●「造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行
 05月●「海辺のナチュラリスト講座」開始
 2011年 04月●東日本大震災 被災地支援活動開始
 06月●ミッドウェー環礁調査ツアー実施
 2012年 06月●「江奈湾干潟保全活動」開始
 06月●「未来に残したい海」プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始
 12月●子どもフォトコンテスト開始
 2013年 04月●江奈湾・毘沙門湾干潟生物調査開始00
 07月●海洋ゴミ企画展開始
 11月●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転
 2015年 04月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁
 サンゴモニタリング調査 開始・新「サンゴ調査プロジェクト」開始

組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとられたものです)		
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704 TEL: 03-6432-9917 FAX: 03-5960-3546 URL: http://www.ows-npo.org/ E-mail: info@ows-npo.org		
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。		
役員	会長	長谷川 博	東邦大学理学部名誉教授
	副会長	倉田 洋二	元小笠原水産センター所長
	代表理事	横山 耕作	
	副代表理事	高砂 淳二	
	理事	森 紀子	
	理事	宮川 貴子	
	理事	杉森 雄幸	
	理事	池上 喜代壺	
	理事	風間 健美	
	監査役	吉岡 宏治	
	学術顧問	秋山 章男	元東邦大学理学部教授
	法律顧問	矢田 誠	新麻布法律事務所 弁護士

2016年度の活動実績

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 海辺の自然教室(クラフト教室)の開催 ネイチャーガイド養成コースの開催	6～10月 7月 年間	神奈川 東京 全国	965,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 環境をテーマとした写真展の開催 講演「海洋ゴミを考える」の開催 「江奈湾活動の5年を振り返る」の開催(1回) 「未来に残したい海」子どもフォトコンテスト開催	年4回 随時 7～3月 7月 6月 7～12月	全国 全国 関東 関東 神奈川 全国	395,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査 造礁サンゴ探索調査	10～3月 5～11月	全国 関東	5,586,000
環境保全 協力事業	江奈湾干潟保全活動(投棄ゴミ・漂着ゴミの回収処分・ 雑草刈り、ヨシ原管理等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査	4～3月	関東	377,000

ネイチャースクール



●オリンパス協働「未来に残したい海プロジェクト」 海辺の自然観察&カメラ教室+クラフト教室

- ①6/18 ネイチャースクール三浦(諸磯コース)
- ②7/02 ネイチャースクール三浦(城ヶ島コース)
- ③7/16 クラフト教室 (新宿:オリンパスプラザ)

※④8/07 ネイチャースクール石巻(牡鹿半島)

◆カメラ教室:子どもフォトコンテストに応募

◆クラフト教室:自然観察時に材料採集

※石巻は震災支援活動として実施

●港区立エコプラザ受託プログラム 海辺の自然観察

- ①6/19 ネイチャースクールお台場
- ②9/18 ネイチャースクール三浦



開催回数: 5回

参加者数: 77名

会報「季刊 エブオブ」の発行



- 4月20日発行(春号) Vol.61
特集:「21世紀の環境問題:マイクロプラスチック」とその低減に向けて
執筆:高田秀重(東京農工大学教授)
- 7月20日発行(夏号) Vol.62
特集:「津波が干潟生物に与えた影響と課題」
執筆:鈴木孝男(前東北大学)
- 10月20日発行(秋号) Vol.63
特集:「深刻化するゼニガタアザラシの漁業被害」
執筆:小林万里(東京農業大学)
- 1月20日発行(冬号) Vol.64
特集:「部活動から広がる環境教育と地域振興」
執筆:瀬戸内千代(副編集長・フリーライター)



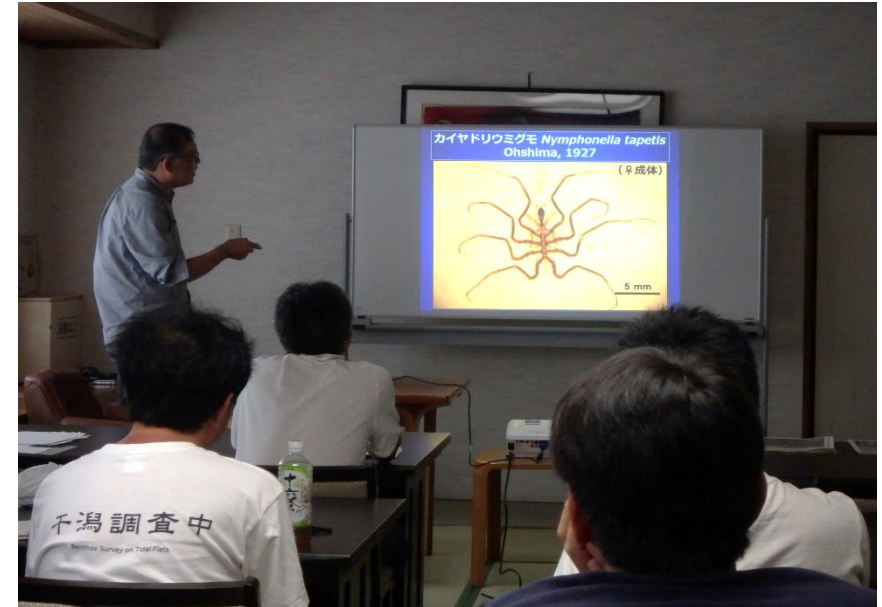
講演プログラム

●海のトークセッション

企画・開催 停止中

●活動に附随したセミナー

干潟生物調査関連セミナー開催



6月4日夜 三浦市サンポートみさき 会議室

①「カイヤドリウミグモの研究」 京大フィールド研・瀬戸臨海実験所 宮崎勝巳

②「カイヤドリウミグモが二枚貝に与える影響」 広大 富山毅

③「海と陸の境界にある自然」 西海区水産研究所 山田勝雅

●参加者:21名

海洋ゴミ問題に係る活動

● 企画展「海洋ゴミについて考えよう！」

①7月1日～7月30日

展示会場：港区立エコプラザ

②8月2日～8月28日

展示会場：板橋区立リサイクルセンター

③3月1日～3月31日

展示会場：足立区立・あだち再生館

● 海洋ゴミに関する講演

①7月20日 エコプラザ企画展連動講座

港区立エコプラザ＜浜松町＞

講演：小島あずさ

● 環境学習用 写真パネルの貸出

①6月～9月 横浜市立よこはま動物園 ※有償貸出

②10月 盈進(えいしん)中学校(広島)



第5回 子どもフォトコンテスト



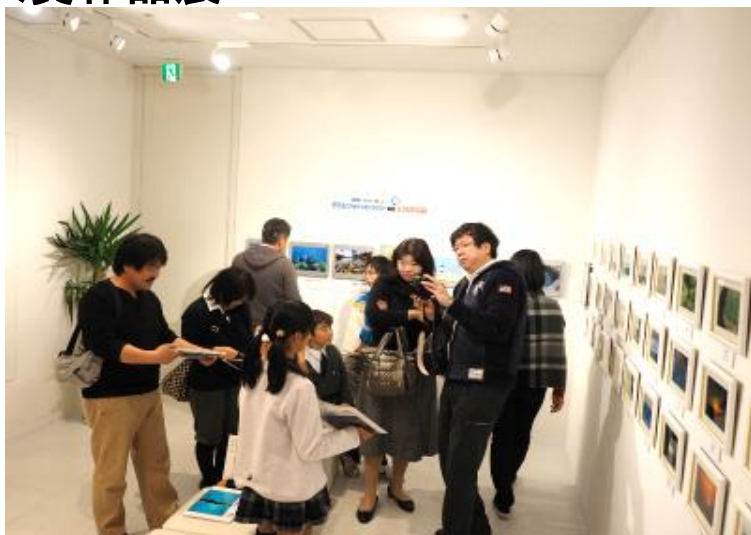
●審査風景



●表彰式



●入賞作品展



●スライドトークショー



造礁サンゴ調査プロジェクト

●モニタリング調査の取組み



温暖化影響評価のための海洋モニタリング
委託業務 2年目

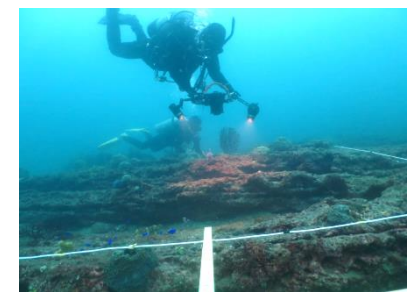
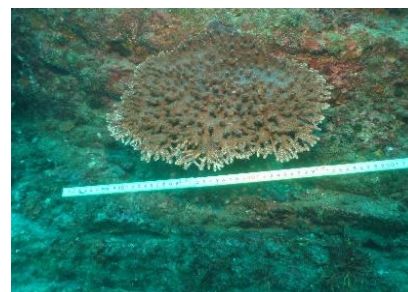
●全国10ヶ所の調査地をモニタリング



- ①千葉・坂田
- ②千葉・沖ノ島
- ③静岡・田子
- ④静岡・安良里
- ⑤和歌山・串本
- ⑥高知・竜串
- ⑦熊本・天草
- ⑧長崎・五島
- ⑨長崎・壱岐
- ⑩長崎・対馬

●北限域3海域でOWSの独自調査

指標種(エンタクミドリイシ)のモニタリング



2016

造礁サンゴ・モニタリング調査

●モニタリング調査

各調査の実施

- ①安良里 12月
- ②田子 12月
- ③竜串 12月
- ④五島 11月
- ⑤坂田 11月
- ⑥沖ノ島 11月
- ⑦吉岐 01月
- ⑧対馬 01月
- ⑨串本 02月
- ⑩天草 02月

参加者合計 65名(延)

2016

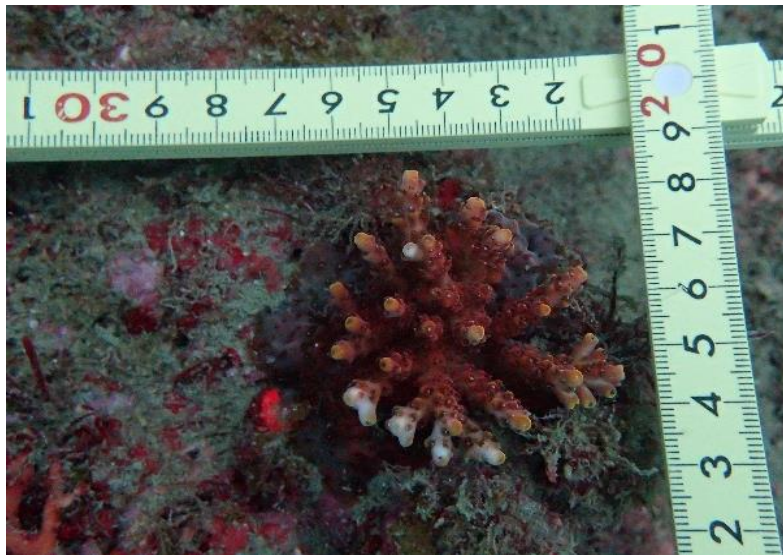
造礁サンゴモニタリング調査

● 11月27日坂田調査

2015年



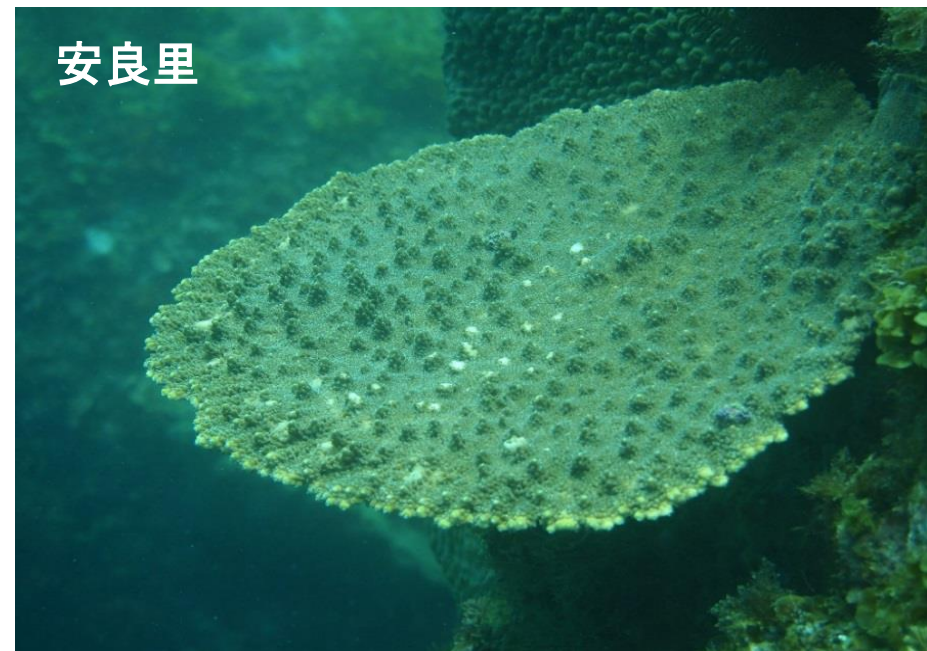
指標種エンタクミドリイシの新規加入確認！
2016年



造礁サンゴ・探索調査

●探索調査

- ①5月15日 安良里・黄金崎調査 参加者4名
安良里新ポイントにおいて8種確認
黄金崎において3種確認
- ②坂田モニタリング調査時に独自調査を併行
指標種のサイズ計測と撮影を実施 参加者3名



2016

江奈湾干潟保全活動

● 干潟生物調査 参加者:2日間延37名

6月4日 干潟生物市民調査

6月5日 アマモ分布調査

● セミナー開催 (6月4日夜)

● モニタリング(自然観察会) 6回開催 延43名参加



6月4日 6年ぶりに
準絶滅危惧種オサガニ確認



6月4日 滞筋と低潮域の
2カ所に水温計を設置



江奈湾干潟保全活動

● 江奈湾干潟生物WEB図鑑公開中



三浦半島・江奈湾
干潟保全プロジェクト

見守ろう。干潟

江奈湾干潟生きもの図鑑（出現種リスト）

★このリストは江奈湾干潟で実際に観察・記録した生き物リストです。（2013年～）
[写真図鑑はこちら（画像がある生き物のみのリスト）]

全件（242種）を分類別・種名（五十音）順に表示

検索メニュー

検索キーワード: 半角スペース区切り or 検索 検索対象項目: 全ての項目 種名表示

※クリックで絞り込み可

分類（門）※色分け	種名・学名（下段）	画	レッドデータ（RDR）	観察（出現）場所			
			絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	A 砂浜	B 砂浜	
海洋動物（樽菌門）	クロイソカイメン <i>Halichondria okadai</i>		-	-	-	○	○
海洋動物（樽菌門）	ダイダイソカイメン <i>Hymeniacidon sinapium</i>		-	-	-	○	○
海洋動物（樽菌門）	ナミイソカイメン <i>Halichondria panicea</i>		-	-	-	○	○
海洋動物（樽菌門）	ムラサキカイメン <i>Haliciona (Reniera) cinerea</i>		-	-	-	○	
刺胞動物（花虫綱）	イシワケイソギンチャク <i>Anthopleura sp. (Gyactis japonica sensu Uchida)</i>		-	-	-	○	○
刺胞動物（花虫綱）	スナギンチャク属の一種 <i>... ..</i>		-	-	-		○



絶滅危惧Ⅱ類⇒6種

準滅危惧種 ⇒17種

情報不足 ⇒8種

ベントス種

計 31種

計 244種
(魚類を除く)

● 江奈湾干潟ゴミ回収活動

3回開催 461.4kg回収



協賛・協力いただいた企業・団体

＜助成・活動協賛＞

【活動助成】

コンサベーションアライアンス 江奈湾干潟保全活動

MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 活動全般

【活動協賛・協力】

オリンパス株式会社／株式会社グリーンロード

リコージャパン株式会社／株式会社モンベル

＜業務受託＞

国立研究開発法人国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査

港区立エコプラザ ネイチャースクール

＜OWS法人賛助会員（スポンサー）＞ （五十音順）

高砂写真事務所

パラオ・スプラッシュ

株式会社ピクルスコーポレーション

株式会社フィットクルー

有限会社ロブ・クラシック

＜寄付・募金＞

【寄付】 リコージャパン株式会社、ゆにぞんスマイルクラブ、株式会社サンコー、スキューバプロアジア株式会社

【募金協力】 麻よしやす／HID AQROS／コアアウトフィッターズ／サンセットリゾートダイブセンター

ジョイジョイ／スキルアップスタジオ THE 101／料理工房8番テーブル

2017年度の活動予算

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 海辺の自然教室(クラフト教室)の開催 ネイチャーガイド養成コースの開催	6～10月 7月 年間	神奈川 東京 全国	802,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 環境をテーマとした写真展の開催 講演「海洋ゴミを考える」の開催 「未来に残したい海」子どもフォトコンテスト開催	年4回 随時 7月 随時 7～12月	全国 全国 全国 関東 全国	514,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査 造礁サンゴ探索調査	10～3月 7～3月	全国 静岡	5,880,000
環境保全 協力事業	江奈湾干潟保全活動(投棄ゴミ・漂着ゴミの回収処分・ 雑草刈り、ヨシ原管理等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査 近隣干潟調査(千葉・静岡・神奈川)	4～3月	関東	267,000